

# 平成28年度 教育部 施策展開方針 計画書

## 1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子育て・ 教育	<b>政策展開の方向性</b>						
	<p>子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。</p>						
<b>平成28年度に向けての展開方針</b> （方針や重点事業の計画等を記載）							
<b>06-02 子どもの教育の充実</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの有無に関わらず、一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな教育を推進することにより、児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるようにしていきます。そのため、学習サポート教員の派遣、小学校外国語活動の全学年実施、デジタル教科書やタブレットパソコン等のICT教育環境の充実などに取り組むほか、障がいのある子どもに対する環境整備として、学校への特別支援教育支援員の配置やバリアフリー化を推進します。</li> <li>・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学などと連携した体力向上プログラムを実施していきます。そのため、大学による出前講座や教職員研修などを通じて、学校での体力向上の取組を支援します。</li> <li>・開かれた学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援地域本部事業を充実させていきます。そのため、引き続き学校支援ボランティアの全市的な派遣に取り組めます。</li> <li>・安全で安心な教育環境の確保を目指して、学校施設・設備の整備充実を図るため、構造体の耐震化・非構造部材の耐震対策を推進していきます。そのため、平成28年度は江別第一小学校校舎改築工事を引き続き実施するほか、屋体の非構造部材の耐震改修工事等を計画的に行います。</li> <li>・様々な悩みや問題を抱える児童生徒への支援策として、不登校・いじめ等の問題行動への対応を充実させていきます。そのため、不登校児童生徒向けの「スポットケア事業」の開催日数の拡大等のほか、引き続き、各種相談体制の充実に取り組めます。</li> <li>・地域社会が連携して次代を担う青少年の健全育成を推進していくため、体験活動やボランティア活動等、地域教育の機会を充実させていきます。そのため、体験活動等の実施のほか、育成団体等の連携強化に取り組めます。</li> </ul>							
<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H26年度</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>目標</b>
子育て環境が充実していると思う保護者の割合		%	44.6	39.2			↗
教育施策に満足している保護者の割合		%	78.0	84.1			↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合		%	77.6	76.7			↗
<b>教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>							
「学校教育基本計画」学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合		%	88.7	91.0			↗

## 政策展開の方向性

市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。

### 平成28年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

#### 07-01 生涯学習の充実

- ・社会教育施設が市民の交流や学習活動の拠点として活発に利用されるためには、施設の整備を通して常に良好な学習環境を提供することが必要であり、計画的に社会教育施設の修繕を進めていきます。そのため、平成28年度は社会教育施設の修繕や設備の更新を行います。
- ・生涯学習事業を実施する各活動団体が自立し、地域で自主的に活動を展開していけることが望ましく、様々な形で活動団体の安定的な運営への支援を行います。そのため、平成28年度以降も引き続き、社会教育団体への公民館施設等の減免などを実施します。
- ・市民が生涯学習で習得した知識や技術が地域社会に還元されることが望ましく、市民が社会参画に向けて多様な知識を得るための機会や情報を提供していきます。そのため、平成28年度も引き続き、四大学等と連携して行っている「えべつ市民カレッジ」の実施やボランティア情報の提供を行います。

#### 07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

- ・文化や芸術の振興を図るには、市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や発表の場を提供することが必要であり、活動団体の安定的な運営への支援のほか、計画的に文化施設の修繕を進めていきます。そのため、平成28年度は、市民が文化芸術を直接体験する機会として、3年に一度の市民ミュージカル本公演を開催するほか、中央公民館外壁改修工事等を行います。
- ・文化財や歴史遺産を調査・保存し、展示施設を活用して市民に公開したり、体験学習事業を通じて、文化遺産を後の世代に正しく継承していきます。そのため、引き続き市民のふるさと学習を支援し、展示施設や文化財の保全に取り組みます。

#### 07-03 市民スポーツ活動の充実

- ・社会体育施設は災害時の避難所ともなることから、耐震化を含む計画的改修によるスポーツ・レクリエーション活動の環境整備を図っていきます。そのため、平成28年度は引き続き社会体育施設の修繕及び備品の更新を行うほか、大麻体育館の第一体育室耐震改修工事及びトレーニング室棟の耐震改修実施設計を行います。
- ・スポーツ・レクリエーションについて、幅広い年齢層に対応した活動機会の提供とともに、地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体の活性化に努めていきます。そのため、平成28年度は引き続き活動団体への支援や軽スポーツの普及促進、各種スポーツ教室を開催します。
- ・市民ニーズの的確な把握と情報共有など、体育施設管理団体と連携して体育施設の利便性向上に努め、利用促進を図っていきます。そのため、平成28年度は社会体育施設のあり方についての検討を継続して行っていきます。
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、トップクラスのスポーツチームや団体との交流を通じた市内のスポーツ振興を図っていきます。そのため、平成28年度はスポーツ合宿誘致推進のためのPR活動や、市内のスポーツ施設を利用して合宿を行う道外の団体に対して支援を行います。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2	28.6			↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	18.3	16.5			↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2	37.3			↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	72.0	59.2			↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	45.1	30.1			↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	76.5	61.3			↗

## 2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業」 (生涯学習課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3A 社会全体で子どもを産み育てるまちづくり 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「児童生徒体力向上事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

## 3. 教育部の資源

		実 績	予 算 額			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	5,011,515	5,486,734	4,496,623		
	特別会計 (B)	0	0	0		
	合計 (A+B)	5,011,515	5,486,734	4,496,623		
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	104	104	103		
	平均単価 (b)	7,853	7,822	7,651		
	人件費 (a×b)	816,712	813,488	788,053		
総 額		5,828,227	6,300,222	5,284,676		

